

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (182), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (184), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充) and a space for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (187), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top: 〇現状どおり推進, 〇拡充, 〇縮小, 〇結合, 〇休止, 〇廃止, 〇事業手法見直し, 〇その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (193), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (197), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Contains criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	201	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	我孫子インフォメーションセンター運営事業		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・商業観光課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成23年度 ~			⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.25人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	26,167千円 (うち人件費 2,175千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	多くの人が我孫子で楽しめるよう、手賀沼、利根川などの豊かな自然や歴史・文化などの観光資源をはじめ、ジャパンパードフェスティバルなどのイベント情報や飲食店などの地域情報を、我孫子インフォメーションセンターを中心に、広報やウェブサイト、SNS等も活用して、絶えず市内外へ発信します。			事業目的	我孫子市の魅力や観光情報を市内外に発信し、市民に我孫子市の良さを再発見していただくとともに、交流人口の拡大によるまちの活性化を図ることを目的として、指定管理者制度を導入し新たな手法や視点で、より効果的な運営を行う。						
(3) 事業内容	内容	我孫子駅至近に我孫子インフォメーションセンターアビシルベを設置し、アビシルベを活用して、市民・事業者などと連携して我孫子市の魅力や観光情報を収集し、パンフレット類の管内への設置や企画展示・イベントの実施やインターネット、情報誌などを活用して市内外に向け情報発信を行う。			当該年度執行計画	通年：我孫子インフォメーションセンターを運営し、観光情報等の収集・発信を実施 (企画展示、集客イベントの開催、ふるさと産品・チケット等の販売、我孫子インフォメーションセンターの専用ホームページの更新、収入印紙・千葉県収入証紙の販売など) 4月：指定管理業務に関する年間協定の締結 6～7月頃：前年度事業評価 1～2月頃：次年度事業計画審査						
		当該年度活動結果指標	我孫子インフォメーションセンターの開館日数	単位	日	想定値	359		実績値			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値			
当該年度	交流人口を拡大してまちを活性化させる。				間接	我孫子インフォメーションセンターの来館者数		人	40,764 41,000			
令和3年度	交流人口を拡大してまちを活性化させる。				間接	我孫子インフォメーションセンターの来館者数		人	42,000			
令和4年度	交流人口を拡大してまちを活性化させる。				間接	我孫子インフォメーションセンターの来館者数		人	43,000			
(7) 事業実施上の課題と対応	インターネットによる情報発信にも力を入れており、情報の取得手段としての来館は減少傾向にある。単純な来館者数の増加のみでなく、来館する人が立ち寄りやすく利用しやすいような、顧客満足度を高める施設になるよう更なる改善が求められる。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			我孫子インフォメーションセンター管理 (債務負担行為31～35年度) 選考委員報酬 * 備品購入費 (TV, PC)	25,634 28 801		我孫子インフォメーションセンター管理 (債務負担行為31～35年度) 指定管理者選考委員会委員報酬	23,964 28				我孫子インフォメーションセンター管理 (債務負担行為31～35年度) 指定管理者選考委員会委員報酬	24,217 28
		予算(決算)額	合計	26,463	合計	23,992	合計	25,608	合計	24,245		
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0				
一般財源		26,463		23,992		25,608		24,245				
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0				
換算人数(人)		0.25		0.25		0.25		0.25				
正職員人件費		2,200		2,175		2,175		2,175				
嘱託職員報酬額		0		0		0		0				
臨時職員賃金額		0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		28,663		26,167		27,783		26,420				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		79.84千円/日		72.89千円/日								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	活力あるまちづくりを推進するためには、豊かな自然や文化・歴史等、我孫子市が持つ観光資源を活かして交流人口の拡大を図る必要がある。そのためには、各拠点の整備だけでなく、そこに人を呼び込むための効果的な情報発信が重要となり、その観点である我孫子インフォメーションセンターの取り組みを充実させていく必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民が委員として参画する我孫子インフォメーションセンター指定管理者選考委員会や指定管理者が自主的に設置するアビシルベ利用推進委員会において、利用にあたっての改善提案等を受けながら事業を実施している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している ○⑤その他 <その他の内容>		環境負荷軽減のため、省エネや利用資源の削減、エコ製品の利用に努める。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (人)	目標値 (b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	40,764	41,000	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (人)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	156.69	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (205), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and expansion direction).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	210	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	消費生活相談事務		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・商業観光課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	1人 (換算人数 0.3人)								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 15,502千円 (うち人件費 2,610千円)								
	⑧施策の位置づけ	施策コード	41402	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	消費者トラブルの解決を図るため、関係する団体や機関と連携し、消費者が健康に過ごすための安全・安心な社会生活の実現に向けて、消費生活相談の充実に努めます。			事業目的	国民生活センターや千葉県消費者センター等と連携して、消費者の消費に関するトラブルの早期発見や解決を図る。								
(3) 事業内容	内容	社会情勢や生活環境の変化に伴う消費者相談に対して、国民生活センターや千葉県消費者センターとの連携を強化して、早期発見や解決を図る。			当該年度執行計画	平日及び月2回の土曜日の午前10時～午後5時30分まで、2～3人が常駐する消費生活相談員により、消費生活相談を行い、助言や斡旋を行い消費者被害の未然防止・解決を図る。消費者講座を開催し消費者が自らトラブルに遭わないための情報提供や消費者教育を行う。								
		当該年度活動結果指標	相談受付想定数	単位	件	想定値	1,600							
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値					
当該年度	受けた相談に対して、解決に導く				直接	消費生活相談解決に向け処理した割合		%	95.6 100					
令和3年度	同上				直接	同上		%	100					
令和4年度	同上				直接	同上		%	100					
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		非常勤一般人員費	12,199	会計年度職員(消費生活相談員)4人	11,923	会計年度職員(消費生活相談員)4人	11,923	会計年度職員(消費生活相談員)4人	11,923	会計年度職員(消費生活相談員)4人	11,923			
		消費者啓発事業	815	消費者啓発事業	843	消費者啓発事業	843	消費者啓発事業	843	消費者啓発事業	843			
		一般事務費	130	一般事務費	126	一般事務費	126	一般事務費	126	一般事務費	126			
予算(決算)額	合計		13,144	合計		12,892	合計		12,892	合計		12,892		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%					
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%					
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%					
	一般財源	13,118		12,866		12,892		12,892						
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他							
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.3		0.3		0		0						
	正職員人件費	2,640		2,610		0		0						
	嘱託職員報酬額	12,199		0		0		0						
	臨時職員賃金額	0		0		0		0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	15,784		15,502		12,892		12,892							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	13.15千円/件		9.69千円/件											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	消費者が安全・安心で豊かな消費生活を営むため、必要な知識・情報を提供するとともに、消費者の保護を目的として斡旋を含む消費生活相談を充実させる必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである (理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 専門の消費生活相談員による業務のため、協働できない。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？ □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	95.6	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.65	単位 費用単位 % 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	212	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	消費生活展の実施		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・商業観光課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	1人 (換算人数 0.2人)					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 4,070千円 (うち人件費 1,740千円)	(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	41401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知識を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費者問題に関する各種講座や消費生活展などを開催し、消費者への啓発を進めるとともに、市内小・中・高等学校で行われている消費者教育の場に積極的な情報提供を行います。			事業目的	私たちの生活が安全で健康的に営めるよう、また、どのように消費環境と関わっているのかなど、様々な事例を通して啓発する。					
(3) 事業内容	内容	令和3年2月6・7日の土・日に、あびこショッピングプラザにおいて、各消費者団体等によるパネル展示や、実験などにより情報提供を行う。			当該年度執行計画	8月と2月を除く毎月、第三木曜日に消費生活展実行委員会を年度内において10回定期的に開催する。 4月から1月(8月を除く)：消費生活展開催に向けて、リーフレット・パンフレット・展示パネル・アクション・ポスター・チラシ・来場者アンケート・スタンプラリーなどの内容について検討する。 2月：消費生活展開催 3月：消費生活展の反省、総括及び会計報告					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	人	想定値	実績値	
当該年度	消費生活展に多くの方に来場いただき、消費生活に関わる問題等を知っていただき消費者への啓発を進める。				直接	消費生活展入場者数	人		785	800	
令和3年度	同上				直接	同上	人			830	
令和4年度	同上				直接	同上	人			850	
(7) 事業実施上の課題と対応	若い世代等、幅広い年代層が来場するためにホームページ等を活用しPRを強化して来場者増を検討する。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	平成31年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
	負担金	850	負担金	850	負担金	850	負担金	850	負担金	850	
	嘱託職員人件費	1,312	会計年度職員(事務補助職員)0.6	1,354	会計年度職員(事務補助職員)0.6	1,354	会計年度職員(事務補助職員)0.6	1,354	会計年度職員(事務補助職員)0.6	1,354	
	一般事務費	130	一般事務費	126	一般事務費	126	一般事務費	126	一般事務費	126	
予算(決算)額	合計		合計		合計		合計		合計		
	2,292		2,330		2,330		2,330		2,330		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%
	一般財源	2,292	2,330		2,330		2,330		2,330		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		
	0		0		0		0		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.2		0.2		0		0		0	
	正職員人件費	1,760		1,740		0		0		0	
	嘱託職員報酬額	1,312		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	4,052		4,070		2,330		2,330		2,330		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	5.07千円/人		5.09千円/人								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	私たちの生活が安全で健康的に営めるよう、また、どのような消費環境と関わっているのかなど、様々な事例を通して啓発していく必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民団体による実行委員会で、企画・運営を行い、市が事務局として参加する。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		環境問題等を取り上げ、啓発を行っている。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	785	800	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
△0.44									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	19.66	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		人 10万円							

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1687 課コード 0403 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 (基本事業/個別事業) TEGAスタンプラリー, ②部課名 環境経済部・商業観光課, ③事業主体 市, ④対象地区 我孫子, ⑤事業期間 平成23年度, ⑥担当職員数 2人, ⑦事業費 (人件費含む) 0千円, ⑧施策の位置づけ 重点2
(2) 目的: 商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、歴史・文化など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用していきます。
(3) 事業内容: 手賀沼・手賀川周辺をT、E、G、Aの4つのゾーンに分け、各観光拠点にスタンプを設置。4つまたは3つのゾーンのスタンプを集め応募。当選者に景品を進呈。
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果) 手賀沼、手賀川周辺の交流人口の拡大を図り商業の活性に繋げる。
(5) 事業実施上の課題と対応: 柏市、印西市との協働事業となるため、同一条件のための協議が必要。スタンプカードの配布場所やスタンプの設置施設との協議が必要。結果を踏まえ検証し、来年度以降の取組みについて検討する。

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) (1) 目標設定は適切か?
(6) (2) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1815), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1864	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	観光振興策の推進	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・商業観光課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成31年度 ~		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.8人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	2,534千円	当該(開始)年度	(当初)	7,860千円 (うち人件費 6,960千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、歴史・文化など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用していきます。また、我孫子市最大の観光資源である手賀沼周辺では、観光客をさらに呼び込み、もてなす環境づくりに取り組み、交流人口の拡大に努め、観光振興策の推進を図ります。			事業目的	観光振興計画を推進し、交流人口の拡大によるまちの活性化を図る。							
(3) 事業内容	内容	平成30年度に策定した第二期観光振興計画のアクションプランについて、序内連携を図りながら、事業を推進していくとともに、観光振興計画推進委員会において、計画の推進、進捗管理などを行っていく。また、アクションプランの実現のため策定した「手賀沼観光施設誘導方針」を周知するとともに、地区内にある農産物直売所アンテナショップ跡地を活用していく。			当該年度執行計画	通年：観光振興計画アクションプランの検討・推進、観光振興計画の見直しの実施 4~5月：アンテナショップ跡地の活用事業者決定 6月：第1回観光振興計画推進委員会（前年の実績報告、観光振興計画の評価・見直しの方向性など） 12月：第2回観光振興計画推進委員会（今年度の進捗状況、そのほか観光施策についての報告など） 2月：第3回観光振興計画推進委員会の開催（今年度の進捗状況、次年度観光施策予算の報告など）							
		当該年度活動結果指標	観光振興計画推進委員会開催回数	単位	回	想定値	3	実績値					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	観光振興計画を推進する			直接	観光振興計画の年度ごとにおける推進進捗率		%	100	100				
令和3年度	観光振興計画を推進する			-	観光振興計画の年度ごとにおける推進進捗率		%		100				
令和4年度	観光振興計画を推進する			-	観光振興計画の年度ごとにおける推進進捗率		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		観光振興計画推進委員報酬 14人×3500円×3回	147	観光振興計画推進委員報酬 14人×3500円×3回	147	観光振興計画推進委員報酬 14人×3500円×3回	147	観光振興計画推進委員報酬 14人×3500円×3回	147	農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×1回	7	農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×1回	7
		* 農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×1回	7	* 農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×2回	14	* 農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×1回	7	* 農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×1回	7	旅費(普通旅費、研修旅費)	67	旅費(普通旅費、研修旅費)	67
		旅費(普通旅費、研修旅費)	64	旅費(普通旅費、研修旅費)	39	旅費(普通旅費、研修旅費)	67	旅費(普通旅費、研修旅費)	67	交際費(部交際費)	13	交際費(部交際費)	13
交際費(部交際費)	19	交際費(部交際費)	13	交際費(部交際費)	13	交際費(部交際費)	13	需用費(消耗品費、印刷製本費)	314	需用費(消耗品費、印刷製本費)	314		
需用費(消耗品費、印刷製本費)	205	需用費(消耗品費、印刷製本費)	310	需用費(消耗品費、印刷製本費)	310	需用費(消耗品費、印刷製本費)	314	負担金(ちばプロモ、黒船祭)	28	負担金(ちばプロモ、黒船祭)	28		
使用料及び賃借料(有料道路ほか)	11	* 草刈委託料	199	負担金(ちばプロモ、黒船祭)	28	負担金(ちばプロモ、黒船祭)	28						
負担金補助及び交付金(利根町火花賞助金ほか)	325	負担金(利根町火花、ちばプロモ、黒船祭)	178										
* 農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×2回【9月補正】	14												
* 農産物直売所アンテナショップ跡地除草業務委託【9月補正】	93												
予算(決算)額	合計		885	合計	900	合計	576	合計	429				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%				
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%				
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%				
	一般財源		885		△1,500		△4,224		△4,371				
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 ■その他	2,400	□特会 □受益 □基金 ■その他	4,800	□特会 □受益 □基金 ■その他	4,800				
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.8		0.8		0.73		0.73				
	正職員人件費		7,040		6,960		6,351		6,351				
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0				
	臨時職員賃金額		0		0		0		0				
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		7,925		7,860		6,927		6,780				
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)			2,641.67千円/回			2,620千円/回							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	近年、手賀沼文化拠点整備計画の推進や観光案内所としての機能を備える我孫子インフォメーションセンター「アピシルベ」の開館等、我孫子市の魅力向上及び情報発信機能の充実が図られてきたが、今後、交流人口の拡大によるまちの活性化を全体的に進めていくためには、市民・事業者・行政の連携が必須であり、その指針となる市の観光振興計画を平成24年度に策定した。25年度以降は計画の推進をし、まちの活性化を図る。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他				○要 ○不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			<その他の内容>					
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他			計画の推進及び推進委員会に市民・事業者の参画がある。				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容				実施した具体的な内容	
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他			手賀沼をはじめとする豊かな自然環境は、我孫子の観光資源であり、それらの活用を計画に盛り込んでいる。				環境への配慮	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である				実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策				実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)		対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法				達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下
	1.27	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2024	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	マスコットキャラクターの活用		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・商業観光課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.35人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	3,165千円 (うち人件費 3,045千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、歴史・文化など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用していきます。また、我孫子市最大の観光資源である手賀沼周辺では、観光客をさらに呼び込み、もてなす環境づくりに取り組み、交流人口の拡大に努める。キャラクターの着ぐるみのイベント等への貸し出しや「手賀沼のうなぎさん」のイラスト使用の推進を図り、キャラクターの知名度を更に向上させ、市のPRに繋げる。			事業目的	市のマスコットキャラクターである「手賀沼のうなぎさん」布佐地区の震災からの復興支援のために作られた「ふさだしお」（以下、2キャラクターあわせてキャラクターと呼称）を観光情報発信やイベントに活用し、市のPRを行うことで市の知名度を向上させる。 通年：マスコットキャラクターのPR、イベントへの出演、着ぐるみの貸出などを実施 通年：市内各おまつりに参加								
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画									
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	件	想定値	実績値			
当該年度	キャラクターを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。				直接	キャラクターの着ぐるみ貸出件数		回		74	100			
令和3年度	キャラクターを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。				直接	キャラクターの着ぐるみ貸出件数		回			100			
令和4年度	キャラクターを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。				直接	キャラクターの着ぐるみ貸出件数		回			100			
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ○無								
(8) 施行事項	平成31年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度					
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		手賀沼のうなぎさんグッズ販売手数料	16		着ぐるみクリーニング代	120		着ぐるみクリーニング代	120		着ぐるみクリーニング代	120		
		着ぐるみクリーニング代	120											
	予算(決算)額	合計		136	合計		120	合計		120	合計		120	
	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		△24			120			120			120		
	その他の財源	□特会 ■受益 □基金 □その他	160	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.3		0.35		0.3		0.3		0.3		0.3		
(10) 人件費等	正職員人件費	2,640		3,045		2,610		2,610		2,610		2,610		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,776		3,165		2,730		2,730		2,730		2,730		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	21.35千円/件		31.65千円/件											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	観光PRツールの一つとしてキャラクターを様々なイベント等で活用していく。イベントでの着ぐるみ貸し出しにより、イベント盛り上げの一助となるとともに市外のイベントにおいては市のPRともなる。また、「手賀沼のうなぎさん」のイラストを各方面で活用してもらうことにより、TVやインターネットといった多数メディアへの露出が増え、結果として市のPRに繋がることとなる。以上から、マスコットキャラクターの活用事業は必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>						○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容			
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民の投票で選ばれたキャラクターです。数多くの市民の自主的な活動にお呼ばれいただいている。搬送や人手の確保は利用する市民ご自身にお願いしている。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮			
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		手賀沼に住んでいる設定である。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	74	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が低い値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(回)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について			
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
△14.01										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	3.16	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2026), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend (e.g., 現状どおり推進, 拡充, 縮小) and a space for comments and improvement strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2272	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	新型コロナウイルス感染症にかかわる事業者支援		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・商業観光課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度			⑥担当職員数	0人 (換算人数)		0人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	206,418千円		当該(開始)年度	(当初)	206,418千円 (うち人件費 0千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域に密着した商業の活性化を図るため、個店の専門性の強化や我孫子市ふるさと商品の開発などによる特色ある商店づくりや、買い物しやすい環境づくりなど、事業者が市民、農業者などのさまざまな主体と連携しながら、消費者ニーズにあった新たな商業展開が行えるよう支援します。また、我孫子の観光資源をいか			事業目的	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言が発令され不要不急の外出自粛や休業要請があったことから市内の商業に売上の減少しているため、市内商業の継続を下支えする施策を実施する。					
(3) 事業内容	内容	市内に事業所等を有する法人及び個人事業主のうち、国や千葉県からの給付対象外となる売上が前年同月比で20%以上50%未満減少した事業者の基本額10万円を給付し、さらに市内に事業所を賃借している場合や市内に複数の事業所を賃借している場合には、それぞれ10万円を加算して、最大30万円を給付する事業継続支援金を実施する。			当該年度執行計画	事業継続支援金：5月中旬から申請受付開始し、8月末で申請受付を終了。随時、申請書の審査、給付手続きを行う。クラウドファンディング：6月中旬に実行委員会を組織し、7月の約1ヶ月の期間でクラウドファンディングを実施。8月中旬頃には支援者にチケットを送付し、チケットの利用は9月から翌年2月までを予定					
		当該年度活動結果指標	申請事業者数	単位	件	想定値	1,300		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	申請事業者数				直接	申請事業者数		件	0	1,300	
令和3年度					-					0	
令和4年度					-					0	
(7) 事業実施上の課題と対応	新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せないが、緊急策として実施する。申請者を増やすため積極的なPRに努める。				代替案検討	○有 ●無					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国から緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛や休業要請があったことなどから、市内事業者の売上が減少し、経済活動が低迷している。そのため、市内事業者の事業を継続させ、新型コロナウイルス感染症の終息後の経済活動の回復を図る必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		クラウドファンディングについては、事業計画から我孫子市商工会や市内事業者とともに実行委員会を組織して実施する。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 直接環境に影響を与える事業ではないが、事業の推進において省エネ化を図り、環境負荷の低減に努める。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (件)	目標値(b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	0	1,300	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (件) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円) 対事業費(%) (g/c)×100		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容> 地方創生臨時交付金の対象事業		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.63	単位 費用単位 件 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------